

REALFORCE
TYPING
CHAMPIONSHIP
2018

最速観戦ガイド

大会スケジュール

当日予選-13:00~14:00

本戦-15:00~18:30

大会ルール

当日予選・本戦ともにダブルエリミネーション制のトーナメントで争われる

当日予選は、10ワード1本先取で戦う

本戦では、決勝戦以外は10ワード2本先取、決勝戦は20ワード3本先取で戦う

当日予選・本戦のどちらも、1本目のワードは全部入りワードを使用する

2本目以降は敗者が元気ワード・esportsワード・タイピングワード・全部入りワードから使用するワードを選択する

試合終了時の正確性が95%未満の選手は取得ワード数に関わらず敗北となる

当日予選での本戦出場権は、ローマ字部門では、

- ・グランドファイナル進出者2名
- ・敗者側決勝での敗者1名
- ・敗者側準決勝での敗者1名の計4名

かな部門では、

- ・グランドファイナル勝者の1名
- にそれぞれ与えられる

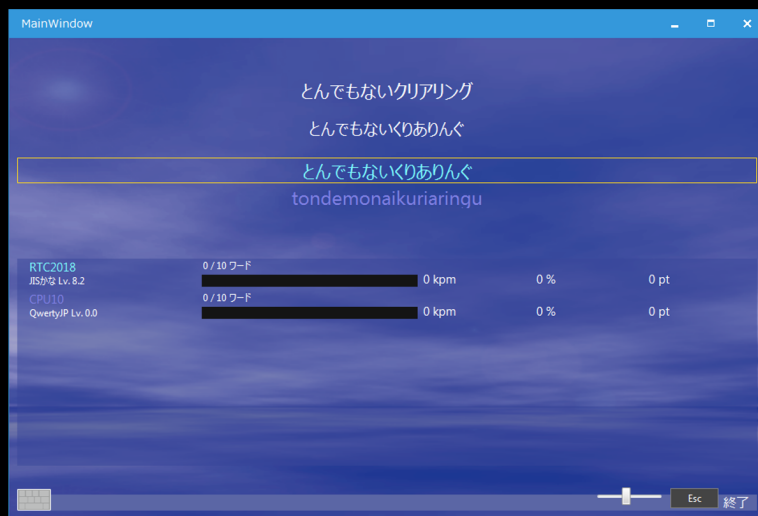
対戦画面の見方

対戦画面には、

- ・ 出題ワード
- ・ 入力方式に応じた文字列
- ・ 各競技者の取得ワード数
- ・ 各競技者の速度と正確性

が表示されている

また配信ではタイピングの手元画面も別途用意されている



使用ソフトの特徴

大会で用いられるWeather Typing(以下WT)にはいくつかの特徴があり、これが対戦に影響を与えてくる。まず、WTには出題ワードの表示から入力受付までに0.3秒ほどの待機時間がある。

このため、大会の緊張から打ち急いでしまうと入力受付の前にキー入力をしてしまい、結果としてそのワードを落としてしまうのみならず、正確性も大きく落としてしまうことになる。

また出題ワードは前半部分と後半部分の2つをランダムに組み合わせることで作られるのだが、それぞれのパーツは試合の中で複数回現れることがある。各パーツにはローマ字で特に打ちやすいものや、逆にかなで特に打ちやすいものなど、どちらかに大きく有利に働くものがある。

そのため、入力形式が違う競技者による対戦では、試合結果が実力以上に大きく傾く場合がある。

対戦時の戦略・テクニック

本大会では、当日予選、本戦ともに終了時の正確性が95%未満の競技者は取得ワード数に関わらず敗北となる

(両競技者がともに正確性95%未満の場合はトータルポイントにより勝敗を決する)

そのため、本大会では最低限の正確性を担保しながら戦うことが必要になる

正確性を維持しながらより多くのワードを取るために、様々な戦略が生まれてくる

相手よりも明確に速度が速い場合は、入力受付制限に引っかからないように打ち出しに余裕を持たせ、正確性を重視して打ち込んでいくことになる

他には、ある入力形式では打ちやすいが、もう一方の入力形式では打ちにくいようなワードがあるとき、このワードを無理に打たずに見逃すという戦略もある

更に、取得ワード数でリードしている場合に、ワードを打ち切る直前まで打ち進め正確性を回復させるというテクニックが存在する

一方で、互いの正確性が95%未満であればトータルポイントで勝敗が決まるという点を利用し、序盤のワードをあえて速度重視で打ち、相手にプレッシャーを掛けるという戦略も考えられる

昨年度の大会では様々な戦略が生まれたが、本大会でも新たな戦略が生まれてくるだろう

出題ワードをただ速く打つだけではない、競技者間での駆け引きにも注目してほしい

選択可能ワードの特徴

本大会では以下の4つのワードを随時切り替えて対戦することになる

各ワードにはそれぞれ特徴があり、各競技者は自分にあったワードを選択して戦うことになる

・元気ワード

全体的に出題ワードが長く、ワードによって打ちやすさの差が大きいかな入力でも打ちやすいワードが多い

そのため、正確性が下がりやすいかな入力でも正確性を95%以上に維持しやすく、またローマ字入力よりも速度を出しやすいためかな有利のワードになっている

・e-sportsワード

全体的に出題ワードが短く、特にかな入力者にとって入力しやすさの当たり外れが激しい

かな入力でも打ちやすいワードもあるが、出題ワードが短いこともあり全体的にはローマ字有利のワードになっている

・タイピングワード

出題ワードの長短の差が激しく、またキーボードに関する専門用語が数多く含まれており、見慣れないカタカナ語や英単語が何度も出現する

かな入力でも打ちやすいワードが多いが、打ちにくいワードも相応にあり引きが悪いと地獄を見る

全体的に運要素が強いがある意味で最もバランスの取れているワードともいえる

・全種入りワード

元気ワード、タイピングワードはかな入力の方が打ちやすいワードが多く、e-sportsワードにもかな入力でも打ちやすいワードが含まれていることもあり、打ちやすさだけで見ればかな入力の方がやや有利なワードになっている

ただ、正確性95%を維持しなければならないルールやかな入力での本戦出場者は4名しかいないということもあり、一方の入力方式が明確に有利になるということはないだろう

対戦の外側で起こるドラマ

タイピング界隈では、他のe-sports分野とは異なり顔出しをした動画や配信はほとんど見られない
しかしながら、本大会では参加者は顔出しで競技に臨むことになっており、普段タイピング界隈では見られない参加者たちの表情を見ることができる
特に、Tシャツの早着替えで会場を盛り上げてくれたparaphrohn選手や、そのparaphrohn選手が対戦中トラブルにより入力できなかつた際に、自分も手を止めparaphrohn選手の復帰を待った珠選手、ファイナリストたちを見つめる実力派小学生タイパーのUSKさんなど、前回大会では対戦の外側でのドラマも数多く見られた

ただタイピング能力を競うだけではない、オフライン大会だからこそそのやりとりにも是非注目してほしい

1st

813pt

miri

前大会優勝

女性ローマ字タイパー

歌謡タイピング出身で、右親指をキーボードのn・mの位置に置き、親指を駆使してタイピングする特徴的なスタイルのタイパー

圧倒的な練習量により各ワードの入力効率を極限まで高め、ローマ字よりも速度を出しやすいとされるかな入力にも引けを取らない速度を叩き出す
本大会でも優勝候補の筆頭であり、彼女の対戦からは目が離せない

2nd

813pt(K)

muller

前大会準優勝

男性かなタイパー

かなタイパーでは非常に珍しい最適化を用いないタイパーだが、それにも関わらずタイプウエルのかな部門で歴代2位の記録を持つトップクラスのタイパーである

本大会のかな予選は非常にハイレベルな戦いとなったものの、その中で余力を残して勝ち上がってきておりその実力は底が見えない

昨年覇者のmiri選手にリベンジを果たせるかに期待がかかる

3rd

741pt

テル

前大会ベスト4

男性ローマ字タイパー

タイプウエルのローマ字部門で歴代1位の記録を持つトップクラスのローマ字タイパーであると同時に、タイプウエルのかな部門でも歴代1位の記録を持つ屈指のオールラウンダー

本大会ではローマ字入力とかな入力の両方を用いて戦うことを公言しており、どの入力方式を選択するかが見どころの1つ

かな入力という新たな武器で昨年以上の順位に辿り着けるかに注目したい

4th

735pt

のん

前大会ファイナリスト

女性ローマ字タイパー

歌謡タイピングで培った優れた指の運動能力を武器とし、対戦で並外れたトップスピードを叩き出す実力者

各種目での記録は飛び抜けてはいないが、テル選手なども参加したタイピングサミットでは参加者中唯一の1000wpm越えを記録するなど、その実力は対戦で遺憾なく発揮される

昨年は珠選手に惜しくも敗れてしまったが、今年はどこまで順位を伸ばせるかに期待したい

5th

730pt

やだ

前大会ベスト8

男性ローマ字タイパー

元々は数字タイピングのトップランカーとして台頭したタイパーで、ローマ字タイピングはタイプウェルZHと出場者の中では目立たない記録ではあるものの、ワードの攻略・対策による速度の向上を武器とし、出題ワード対策が大きな比重を占める競技では顕著な成績を残している

本大会はワードの癖が強いこともあり、格上の選手にどう立ち向かっていくかに注目したい

7th

703pt セレナーデ☆游騎

前大会ベスト8

男性ローマ字タイパー

右手3本、左手2本の計5本のみを用いるスタイルのタイパーで、e-typingでは常に上位にランクインしている

持ち前の変換技術と正確性の高さを生かし、自らが主戦場とするニコ生タイピングでは定期大会で常に上位に位置している特殊なワードへの対応力も高く、ワード数の増えた本大会でどのような戦いを見せてくれるのかに注目したい

6th

723pt(K) はやとう

今大会初出場

男性かなタイパー

かな入力を始めてわずか2年で本大会への出場を果たした新星タイプウェルのかな部門では歴代8位の記録を持っており、その実力は十分

予選通過時のスコアは482pt(ローマ字723pt相当)と上位勢には見劣りするものの、1週目には533pt(ローマ字799pt相当)と予選3位のスコアを叩き出しており、本戦のダークホースとしての活躍に期待したい

8th

685pt kurimans

今大会初出場

男性ローマ字タイパー

毎日パソコン入力コンクールでの優勝経験を持つ古豪

近年はInterstenoのオフライン大会に出場するなど、英文タイピングを中心に取り組んでいたものの、かつてはローマ字でe-typing789、打トレ歴代9位と、本大会出場に相応しい実績を残している

経験を武器に、前回大会出場者たちとどのように渡り合っていくのかに注目したい

9th

664pt

permil

前大会ファイナリスト
男性ローマ字タイパー

英文タイパーとしてトップクラスの実績を残している古豪
前回大会を機にローマ字入力にも力を入れており、その成果は2年連続での本戦出場という結果に現れている
持ち前の英文タイピング力を活かせるワードもあり、昨年以上の結果を期待したい

10th

657pt

珠

前大会ベスト8
女性ローマ字タイパー

珍しい運指を用いるローマ字タイパーで、e-typing759という記録を持つ
打鍵トレーナー出身ということもあり、特に長文を得意とし、前回大会では1回戦でのん選手を破るなど、対戦での実力は十分であり、本大会での活躍にも期待がかかる

(-th)

661pt

ring

今大会初出場
ローマ字タイパー

ring選手は表だったランキングには名前が上がっておらず、実力や背景が明らかではない
有名タイパーの変名義である可能性もあるが、今まで知られていない新星である可能性も十分にある
本戦でどのような戦いを見せてくれるのかに期待したい

(-th)

651pt

-4E改

今大会初出場
ローマ字タイパー

-4E改選手の予選登録時のHNはRF-4E改であり、これは戦闘機の名称のことである
このことから、有名タイパーの変名義、もしくはオンライン予選の賑やかしである可能性が高いが、今まで知られていない新星である可能性も十分にある
本戦でどのような戦いを見せてくれるのかに期待したい